

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：係長

氏名：小林寛和

受入課室等名	研究振興局振興企画課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	9月7日(月)	～	9月11日(金)	受入予定人数
受入期間	1		週間	(受入時期内の合計受入数) 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	特になし			
実習内容	<p>【業務体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各系の業務内容の紹介と簡単な業務体験 <p>【人文学・社会科学分野の振興に関する政策提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策課題に関するリサーチ、ヒアリング等 簡単な説明用資料の作成 施策提案プレゼン <p>【職員交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究振興局等の職員との交流 <p>(※上記は予定です。変更となる場合がございます。)</p>			
受入課室等紹介	<p>研究振興局は、大学等における学術・基礎研究や政策課題に対応した科学技術の振興を図り、研究力向上に資する基盤的な力の強化を図ることをミッションとし、学術の振興のための助成制度や研究開発に必要な大学等の研究基盤の整備、科学技術に関する基礎研究の振興など、幅広く研究の基盤的な部分を支える課がある一方、ライフサイエンス、ナノテクノロジー・材料科学技術、情報科学技術、量子科学技術等の個別の研究分野の振興を行う課も存在しています。</p> <p>その中でも、振興企画課は研究振興の総合的な調整を行うほか、人文学・社会科学を含めた学術研究の推進に係る施策の企画・立案や科学技術・学術審議会学術分科会の運営等の業務を所掌しています。そして、インターンシップでは、振興企画課の所管している業務紹介を行った後、課内の仕事を体験するほか、職員と交流していただき、政策提案を行っていただく予定です。</p>			
受入課室等からの一言	専門的な知識や技術は必要ありませんし、専攻分野も問いません。研究振興に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：企画指導係長
氏名：新保 綾音

受入課室等名	研究振興局大学研究基盤整備課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
受入時期	8月17日(月)	～	9月18日(金)	
受入期間	2		週間	受入予定人数 (受入時期内の合計受入数) 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>			
受入条件	基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができること。 学術研究行政に関する専門的な知識や技術は必要ありません。			
実習内容	<p>【各系の業務補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点等に関する各種データの集計及び分析 ・集計、分析結果を用いた資料の作成 ・各種会議の資料準備及び傍聴、会場設営の補助 <p>【各系の課題への施策提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の共同利用・共同研究体制の在り方等を含めた大学の研究力強化のための方策について <p>上記の実習を通じて、研究大学の抜本的強化のための施策や、最先端の研究装置等を含めた研究活動に必要な基盤の強化の取り組みについて体験いただき、考えるきっかけとしていただきたいと思います。</p>			
受入課室等紹介	<p>大学研究基盤整備課は、我が国の国力の源泉である大学における研究振興のため、研究大学の抜本的強化のための施策や、最先端の研究装置等を含めた研究活動に必要な基盤の強化に取り組んでいます。</p> <p>【当課の主な業務】(以下の言葉を聞いたことがなくても問題ありません)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学の研究力強化に関すること ○個々の大学では整備できない大規模な施設・設備や大量のデータ・貴重な資料等を国内外の研究者が共同で利用して共同研究を行う「共同利用・共同研究体制」の強化 ○国立大学の附置研究所及び大学共同利用機関法人の教育や研究に関すること ○「すばる望遠鏡」や「ハイパーカミオカンデ計画」などの世界の学術研究を先導する大規模プロジェクトの推進 ○学術に関する研究設備に関すること ○国際卓越研究大学制度に関すること ○大学ファンドに関すること <p>以上のおり、当課では、分野を問わず、最先端の学術研究の推進に取り組んでいます。共同利用・共同研究の仕組みや、学術研究の大規模プロジェクトの推進は我が国の学術研究の発展のための重要な仕組みであり、ノーベル賞につながる研究成果の創出にも貢献しています。</p>			
受入課室等からの一言	当課の業務に関心があり、意欲のある方を歓迎します。 今後の進路選択の一助になれば幸いです。			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：専門職

氏名：本間 ゆりか

受入課室等名	研究振興局学術研究推進課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月21日(火)	～	9月25日(金)	
受入期間	2		週間	受入予定人数 (受入時期内の合計受入数)
				1人
選考時の面接の実施予定	予定あり 予定なし	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	特になし(専門的な知識や技術は必要ありません)			
実習内容	<p>学術研究推進課では、下記「受入課室等紹介」欄に記載しているように「科学研究費助成事業(以下「科研費」)」や「創発的研究支援事業」など、様々な業務を担当しています。研修期間中の具体的な業務は研修時期等も考慮の上、計画しますが、主に以下の業務全般を体験できるよう計画を立てる予定としています。</p> <p>【主な研修内容(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科研費制度に係る政策課題検討 ○科研費審査会やその他当課関連委員会の傍聴 ○創発的研究支援事業における研究者との対談 ○当課関連法人における広報活動 ○省内職員との意見交換 			
受入課室等紹介	<p>学術研究推進課では、大学等の研究者が人文科学・社会科学・自然科学までの全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とした「科学研究費助成事業(以下「科研費」)」や挑戦的・融合的研究構想に、リスクを恐れずに挑戦し続ける独立前後の研究者を対象に研究資金と研究に専念できる環境を一体的に支援する「創発的研究支援事業」に関する業務など、研究者の個人研究費を中心とした政策立案を担当しています。</p> <p>【学術研究推進課の主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科研費の審査・交付に関する業務 ○科研費の広報に関する業務 ○科研費の制度改善に関する業務 ○創発的研究支援事業に関する企画・立案に関する業務 ○独立行政法人日本学術振興会が審査・交付を行う科研費に関する指導・助言等に関する業務 			
受入課室等からの一言	<p>大学院生、大学生いずれも受入を可能とします。 学術研究推進課の業務に関心があり、意欲をもって積極的に参加する方を歓迎します。</p>			

令和8年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：企画係長

氏名：藤田 晃士

受入課室等名	研究振興局参事官(情報担当)付/戦略官(人工知能活用担当)付			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
	(○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	8月17日(月)	～	9月25日(金)	受入予定人数 (受入時期内の合計受入数)
受入期間	2		週間	2人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/>		予定なし <input checked="" type="checkbox"/>	
受入条件	<ul style="list-style-type: none"> ・Officeソフト(Excel、Word、PowerPoint)等の基本的な操作ができる方。 ・AI for Scienceの推進を含む、情報科学技術に関する研究開発に興味・関心のある方。(専門的な知識や技術は必要ありません！) 			
実習内容	<p>具体の業務については、参加者の御希望等も考慮して計画しますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報科学技術に関する政策の企画・立案に付随する業務 ・情報科学技術に関する基礎資料の作成、データ収集、集計及び分析 ・関係会議の傍聴、概要の作成 <p>等に、取り組んでいただく予定です。</p> <p>※参加いただいた実習生の方には、期間中、「今後の情報科学技術はどうあるべきか」について、考えていただき、職員に対して、文部科学省として今後取り組むべき方向性や対応について発表いただく予定です。忌憚のない、学生ならではの提案をお聞かせください！</p>			
受入課室等紹介	<p>参事官(情報担当)付/戦略官(人工知能活用担当)付では、我が国の情報科学技術分野に関する多岐にわたる業務を実施しています。</p> <p>【主な業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AI for Scienceの推進 ○生成AIの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発や、革新的なAI基盤技術の研究開発 ○スーパーコンピュータ「富岳」の運営、「富岳」の後継となる新たなフラッグシップシステムの開発・整備 ○学術論文等のオープンアクセスの推進、大学や研究機関を結ぶ学術情報ネットワーク「SINET」の整備や全国的な研究データ基盤の構築・高度化・実装 			
受入課室等からの一言	<p>専門的な知識や技術は必要ありません。研究振興局参事官(情報担当)付/戦略官(人工知能活用担当)付の業務に関心がある方はもちろん、文部科学省、行政の仕事に興味のある方の応募も大歓迎です。意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。</p>			